

---

# 天竜の杣人（そまびと）

neteru

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

天竜のそまびと杣人

### 【Nコード】

N3489H

### 【作者名】

neteru

### 【あらすじ】

高校3年生のたけしが社会への旅立ちに不安を抱きながらも、自分の人生についてビジョンを描いて過ごす平凡な学校生活。自分達の人生が、大きく変わることも知らないで。全人類がそう遠くない未来に危機に直面するSFアドベンチャー小説。

## 第1話

『天竜の仙人』てんりゅうのせんじん

- - 2009年 7月 - -

今から16年前、アメリカ合衆国でひとりの少女が生まれた。

彼女は16年経った今でもその体は赤ん坊のままだ。そして心も赤ん坊のまま成長することはない。

彼女は4人姉妹の3番目。

13歳になる4番目の妹に、16歳の彼女はオムツを替えてもらっている。

なぜ彼女はまったく成長しないのか、そのメカニズムは解明していない。

- - 2019年 7月 (10年後) - -

2019年、天竜の夏は暑かった。

政府のエコ活動の効果は、日本全体のエネルギー消費量に追いついていない。

1990年に対しての削減量の目標値は、建前上達成したかのように発表されたが

この10年間、天竜は夏になると猛暑日数の記録更新が続いた。

「なんで、ここが沖縄より暑いんだー」

白い開襟シャツを全開にして、うちわをあおぎながら、うだつた体を冷やしている。

たけしは高校3年生。今月18歳になったばかりだ。

大学進学はしない。

家庭の経済状況は、時々始まる両親の喧嘩でも感じとれた。

大学に行きたいと言えば、たけしの親は自身の老後を犠牲にしても借金をして大学に行かせてやると言ってくれている。

今は学校の昼休み。

たけしは友人たちと弁当をひろげながら、暑さの拷問に耐えていた。

「しょうがねえだろう。ここは天竜なんだからさあ」

友人のだれかが言った。

たけしは、弁当を開けた。

今日も冷凍食品の揚げ物が多い。腹がめっちゃ減ってるから、こんなに暑くても

さっぱりしたものよりこっちのほうがいい。

「今日、三者面談か。。。」

弁当をほおばりながら、たけしがつぶやいた。

「お前はどうすんだ？」

たけしの友人の一人、たかひろが隣で聞いた。

「オレは大学なんか行かないよ」

自分なら、どんな下っ端の仕事でもいい。

なるべく大きな会社に入って、お金を貯めて

そのかたわら、セミナーに通う事を考えている。

ビジネスに関する法律や税金のノウハウ

セールスの話法、リーダーシップの取り方をはやく吸収したい。

会社からの支援が無ければ、自腹も覚悟していた。

専門家になったり、安定した仕事を求めてばかりでは

大事な自分の人生における自由が

金持ち達に奪われていく世の中のしくみを知っていたからだ。

たかひろが言った。

「いいよなあ、たけしは。 気楽で。」

「大丈夫なのか？ 将来。 親御さんは何も言わないのか？」

たけしは、しばらく黙っていた。

「お前は？」

たけしが聞いた。

「俺？俺は大学行くよ。地元の大学がいいな。」  
たかひろは、持ってきた やきそばパンと牛乳を、もつたいらげる  
ところだった。

たけしは思った。

お金があれば、大学も行きたい。

でも今は、ロケットスタートをきりたい。

大学に4年間も行っていたら、せつかくの金儲けのチャンスを失う。  
2008年に始まった第2次世界恐慌から、もう11年。

テレビでは、毎年のように景気が回復しそうだというニュースが報  
道されているが

そんなのは国内だけだ。

ネットで見ると、アメリカのABCニュースやイギリスのBBC  
のニュースには

日本の景気が良くなっているなんてのはない。

でもやっと起死回生チャンスが見えてきた。

それは、自分が18歳になったからだ。

もう社会人になれる。

自由を得るには、お金儲けができる、ビジネスを起こしたい。

そして、そのオーナーになりたい。

まだ漠然としているが

そのために、システムを作り、人を雇って利益を得るようにするの  
だ。

そして今度はそこで得た資金を別のビジネスに投資する。  
金儲けのにおいの嗅ぎ分けは、自分のビジネスで得た感性が役に立  
つだろう。

そして20年後、自らがおやじ世代になったとき  
自分の親のように忙しすぎる日々を過ごしたくない。

自由になる時間を増やして、自分の子供という時間を大切にしたい。  
子供には寂しい思いをさせたくない。

自分の親達が自分のために、朝早くから夜遅くまで働いて  
大切な時間を犠牲にしてくれたことを、オレは一生感謝し続けるだ  
ろう。

でも、小学生の頃はとっても寂しかった。

正直、親達を恨んだ。

オレは親達の歴史を繰り返さない。歴史から学ぶんだ。

それは今18歳になって、学校では教えてくれない世界が  
ネットを通してやっと見えてきたからそう感じる事ができたのだ。

「大学もいいよな。俺も行きたいけど、今は早く働きたい。」  
「たけしが答えた。」

「いまどき、大学出てないとどこにも就職できんよ。」  
「たかひろが、げげんそうな顔をして言った。」

「いや、そんなことないさ。大学卒業の価値は下がっているんだ。」  
「今の時代は、何ができるのかをアピールできる人材が必要なんだ  
って、ネットの記事で紹介されてたよ」

「大卒は最低ラインでしょ。大学卒業してない人間が社会出てもいい  
スタートできないんじゃない？」

「オレは、大学行かないの！」

弁当を食べ終わったオレは、さっさと友人達から離れて  
自分の席に戻った。

( つづく )

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3489h/>

---

天竜の杣人（そまびと）

2010年10月28日08時00分発行